

江戸時代の出雲往来の道しるべ  
土居一里塚



指定区分	県指定史跡
読みかた	どいいちりづか
所在地	美作市土居
指定年月日	昭和47年4月21日
解説	出雲往来の一里塚として津山藩初代藩主の森忠政によって築造されたもの。街道をはさんで、北塚と南塚からなる。古くは北塚に松が、南塚に榎が植えられていたという。
アクセス方法	JR美作土居駅から約0.5km
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	土居一里塚
よみかた	どいいちりづか
しょざいち (所在地)	美作市土居
していたひ (指定した日)	昭和47年4月21日
せつめい	一里塚(いちりづか)とは、江戸時代(えどじだい)のおもな道路(どうろ)に、道しるべとして、一里ごとにつくられた塚(つか)のことです。一里はおよそ4キロメートルです。この一里塚は出雲(いずも)へ行き来(いきき)するためにつくられました。